

## 令和5年度

### 劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業

#### (地域の中核劇場・音楽堂等活性化)

### 成果報告書

団 体 名	公益財団法人横須賀芸術文化財団	
施 設 名	横須賀芸術劇場	
助成対象活動名	普及啓発事業	
内定額(総額)	6,046	(千円)
	0	(千円)
	0	(千円)
	6,046	(千円)

# 1. 事業概要

## (3) 令和5年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数(人)	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	2023年(令和5)年度 横須賀芸術劇場少年少女 合唱団活動	<b>【活動期間】</b> 2023年4月13日～ 2024年3月21日 ①【サマコンサート23】 2023年7月16日 ②【訪問コンサート】 2023年12月2日 ③【クリスマスコンサート23】 2023年12月17日	<b>【出演】</b> 横須賀芸術劇場少年少女合唱団 渚上千里、廣橋英枝(以上、指揮)、 水戸見弥子(ピアノ)	目標値	1,800
		①③ よこすか芸術劇場 ② コーサ・ベ・イット・ストアーズ		実績値	1,759名 ①644名 ②200名 ③915名
2	劇場オープンデー／バック ステージツアー／子ども のための劇場裏側探検 ツアー	①【オープンデー】 2023年8月12日 ②【バックステージツアー】 2023年5月28日(日)、 11月14日 ③【養護学校バックステージ ツアー】2023年9月20日 ④【子どものための劇場 裏側探検ツアー】2023年 8月15日、16日	①【オープンデー】 劇場を一般公開し、舞台は市民の発 表の場として提供。その他、音楽に 関するWS、ミニバックステージツアーなどを実施。 [出演]一般市民の文化活動団体、 声楽WS：梅沢一彦(講師/声楽家)、 松本康子(ピアニスト)、児童合唱体験 WS：廣橋英枝(講師/声楽家)、水戸 見弥子(ピアニスト)、竹多倫子(ソプラノ)、 宮下嘉彦(バリトン)、関根寿代(ピアニ)、 声優体験WS：重松花鳥(声優)ほか 3名、盆踊りWS：西川扇衛仁(舞踊 家)ほか3名、歌舞伎入門講座：葛 西聖司(古典芸能解説者) ②【バックステージツアー】 舞台施設・舞台機構の見学ツアー。ピン スレットやパト操作卓などの舞台装置 を操作し、体験を交えてのツアー。 ③【養護学校バックステージツアー】 の見学ツアー。車椅子・ストレッチャーなどで 舞台施設・舞台機構の移動可能な場 所をツアー。ステージ上でのスポットライト体験 や曲の演奏を実施。 ④【子どものための劇場裏側探検ツ ー】対象：小・中学生。体験型劇場見 学ツアー。舞台、音響、照明ブース巡り、 舞台装置の操作、朗読劇の舞台作り。 作ったセットを使用した朗読劇を客席 で鑑賞。その他施設見学など実施。	目標値	2,100

		よこすか芸術劇場		実績値	参加者数 ①参加者：1,276名（オープンテ-舞台発表 217名、WS他イベント参加者 837名、BSツア- 222名／入場者：1,000名 ②120名 ③12名 ④90名
3	2023（令和5）年度アーティスト派遣事業	①【ジャズ】 11月15日 11月17日 ②【クラシック（声楽）】 10月3日 11月13日 ③【能】 10月13日 11月9日		目標値	700
		①【ジャズ】 走水小学校 田浦小学校 ②【クラシック（声楽）】 北下浦中学校 汐入小学校 ③【能】 逸見小学校 神明小学校		実績値	参加者：9名 入場者：578名 ①171名 ②300名、 ③107名
4	ことばと音楽で楽しむあべこべの世界 あべこべのお話し「3びきの子ぶた！？」 楽しくちょっと怖～い！「青ずきんちゃんのお話」	5月13日 ※仕込み12日	①3びきの子ぶた！？ ②楽しくちょっと怖～い！ 青ずきんちゃんのお話	目標値	660
		ヨスカ・ベイト・ポケット	【出演】 中島朋子（朗読） 加藤昌則（ピアノ）	実績値	入場者：359名

5	よこすか能 蠟燭能「住吉詣」	①子方稽古 12月8日、15日、 1月5日、12日、13日 ②公演 1月13日	【演目／】 ・狂言：「六地蔵」野村萬斎ほか ・見どころ解説（観世喜正） ・能：「住吉詣」観世喜正 子方：小学生6名 （横須賀市内の小学生）	目標値	1,000
		①大ホール室 ②よこすか芸術劇場		実績値	入場者： 1,020名
6	フレッシュ・アーティスト from ヨコスカ	①5月20日 ②10月7日	【出演者】 ①北原 義嗣 ピアノ・リサイタル ②小池優介 バリトン・リサイタル 居福健太郎（ピアノ）	目標値	600
		ヨコスカ・ベイト・ポケット		実績値	入場者： 513名 （①240名、②273名）

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

## 2. 自己評価

### (1) 妥当性

自己評価
<p>ミッション（社会的役割等）・ビジョンや地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。</p>
<p>横須賀芸術劇場は、芸術文化の賑わいの拠点として、潤いある豊かな市民生活と地域社会を実現する社会的役割を担い、それを果たすため4つのビジョン「創る・発信する」「つなげる・広げる」「育む・支える」「整える・備える」をもって事業を実施しています。助成対象の「普及啓発事業」は、このビジョンや地域の特性をふまえ、継続的に実施してきたもので、劇場のミッション（社会的役割）に基づき適切に実施できていると考えます。</p> <p>【事業番号1】：活動では、新型コロナの5類移行もあり、対面練習を基本にZOOM参加も継続し、2つの定期演奏会という目標をもった活動で高いモチベーション維持が図れ、充実した活動を行うことができました。コロナ後初となる訪問コンサートを近隣商業施設で実施し、普段会場に足を運ぶことができない方や、広く一般の方に合唱団の活動を知っていただく良い機会にもなりました。</p> <p>【事業番号2】：オープンデーは、大劇場のステージに出演する市民団体の募集や各種ワークショップ（コーラス、声優体験、歌舞伎入門、盆踊り）など来場しやすいプログラムにできました。BSツアー（一般/子ども）は、朗読劇の上演や使用機材の説明などを交え、一般の方や子どもの興味を惹く内容としました。養護学校のツアーも実施し、「地域のコミュニティの場として「劇場」への親しみや幅広いお客様の“劇場”や“舞台芸術”への興味を深めるきっかけ作りができました。</p> <p>【事業番号3】：小中学生が伝統芸能「能楽」やジャズ、クラシックの演者、アーティストと交流し、ワークショップやコンサート鑑賞、キャリア教育プログラムなど、生徒が文化芸術への理解・興味を深め、心豊かな成長のきっかけとなる機会を提供できました。</p> <p>【事業番号4】：ファミリー層をターゲットに周知を図り、当日は公演に関する「お面」工作コーナーも設けたほか、劇中に観客が参加する場面を設けるなど、作品を身近に感じる体験とともに、演劇や音楽への新たな興味へとつなげることができました。</p> <p>【事業番号5】：公演当日のミニBSツアーを開催。能舞台や演目の説明とともにバックステージを案内したほか、来場者には上演前の観世喜正氏の「見どころ解説」にて内容や見どころなど易しく解説することにより、初めての方でも鑑賞しやすい環境作りへに配慮しました。一般募集した子方6名が1か月間の稽古を経て公演に出演。次世代の日本文化を体感する機会を提供できました。</p> <p>【事業番号6】</p> <p>若手演奏家を、劇場と市民によるサポートメンバーズとともに支援し、2公演開催。コロナ禍に中止していた演奏会終了後の懇親会を再開し、演奏者とサポーターとの交流機会を提供しました。また、出演者の小池優介／バリトン）をアーティスト派遣事業として小・中学校（各1校）に派遣し、事業の有効活用を図りました。</p>
<p>助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。</p>
<p>地域の中核劇場として、横須賀の地域性を活かした質の高い公演実施のほか、近隣商業施設との連携など、街の賑わい創出や地域との協力体制を構築できました。市民の文化活動の支援や発表、地域の劇場に親しむ機会の提供など、幅広い年齢層を対象とした事業を企画・制作・運営できたことで、市民が文化芸術を享受できる機会の提供や未来の文化の担い手の育成、潤いある市民生活への貢献につながりました。そして助成金の活用により、事業内容および広報の充実に伴い、参加者や来場者などを含めた認知度向上が図れたことなど、横須賀市における文化的、社会的、経済的意義は大きいものであると考えます。</p>

## (2) 有効性

### 自己評価

目標を達成したか。

【事業番号1】活動では、新型コロナの5類移行もあり、対面練習を基本にZOOM参加も継続し、2つの定期演奏会の目標をもった活動で高いモチベーション維持が図れ、充実した活動を行うことができました。特に市内外への広報では、近隣市内外の教育委員会の協力（後援）を得て、広く学校への広報も行う事ができました。これらの取り組みにより、コロナ禍で減少していた定期演奏会のチケット販売枚数の目標686枚に対し、726枚（+5.8%）を達成することができました。

【事業番号2】：大劇場のステージに出演する市民団体の募集や各種ワークショップ（コーラス、声優体験、歌舞伎入門、盆踊り）など多くの方が来場・交流しやすい内容としたことや、BSツアー（一般/子ども）では、朗読劇の上演や使用機材の説明などを交え、多くの子どもたちの興味を惹く内容にできたほか、養護学校のBSツアーの実施も含め、入場者・参加者目標計2,100名に対し、2,276名（+8.3%）と目標を達成できました。

【事業番号3】：当劇場が有する資源（アーティスト、ノウハウ）を学校にて活用してもらうことを目的とし、これまで未実施校での実施する目標を達成できた（未実施校3校にて実施/小学校2校、中学校1校）。能楽ワークショップ（2校）、ジャズ・ライブ（2校）、クラシックコンサート（2校）を実施。能楽の歴史や所作・礼儀作法のほか、クラシックコンサートやジャズ・ライブでは、アーティストが自身のキャリアを語り、生徒の質疑応答も交え、キャリア教育の面としても有効に本事業を実施できました。

【事業番号4】：2つの異なる演目を同日開催し、それぞれの公演のターゲット層に合わせたお客様を呼び込み満足度の高い公演を実施するため、ファミリー層をターゲットに周知を図りました。それに加え、当日は公演に関する「お面」工作コーナーも設けるなどした結果、アンケート結果では、94.5%と高い満足度を得ることができました。ただし、チケットの販売率目標648枚（80%）に対して、349枚（販売率目標の52.8%）と目標達成には結びつきませんでした。

【事業番号5】：劇場ならではの演出を施した”能””狂言”の公演実施とともに、子方（子役）の公募、一般の方を対象としたミニ・バックステージツアーの実施を目標とし事業を実施した結果、一般募集した子方6名が出演（応募15名/稽古期間約1か月）。ミニバックステージツアーの参加者目標20名に対し10名と下回りましたが、お客様の伝統芸能への興味を深める機会を提供できました。

【事業番号6】：若手演奏家を、劇場と市民によるサポートメンバーズとともに支援。メンバーズの獲得目標90名に対し、78名と目標を達成することはできませんでしたが、出演者のうち1名をアーティスト派遣事業として小・中学校（各1校）に派遣し、本事業を有効に活用することができました。

### (3) 効率性

#### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

事業期間（日程）について、適切に実施できた。

【事業番号1】：練習においては、対面とリモート、どちらも参加できる体制を継続し、2回の定期演奏会に加えて近隣施設での訪問コンサートの実施も含め、予定した事業期間（日程）で実施できました

【事業番号2】：「劇場オープンデー」「バックステージツアー（一般／子ども／養護学校）」とも、予定した事業期間（日程）で実施することができました。

【事業番号3】：ジャズ・ライブは当初6～11月を予定していましたが、学校側の要望を踏まえ、11月に小学校2校で実施。能のワークショップおよびクラシック（声楽）コンサートは、予定した事業期間（日程）で実施することができました。

【事業番号4】：予定した事業期間（日程）で実施することができました。

【事業番号5】：予定した事業期間（日程）で実施することができました。

【事業番号6】：予した事業期間（日程）で実施することができました。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

#### ■事業費について

<助成対象経費の交付要望書時点との比較>

支出結果全体としては、-10.57%の要望差異となっており、概ね要望通り積算されたものと考えます。

事業は計画通りに進行できましたが、事業内訳によっては、事業3、4、6のように差異が大きいものもあったことから、次回に向けて経費の積算見込みの精度向上を次回の反省点といたします。

<助成対象経費の比較>

【事業1】：横須賀芸術劇場少年少女合唱団活動 要望比：100.67%

【事業2】：劇場オープンデー／バックステージツアー／子どものための劇場裏側探検ツアー 要望比：83.76%

【事業3】：2023（令和5）年度アーティスト派遣事業 要望比：64.47%

【事業4】：ことばと音楽で楽しむあべこべの世界 要望比：75.70%

【事業5】：よこすか能 蠟燭能「住吉詣」 要望比：96.95%

【事業6】：【フレッシュ・アーティスト from ヨコスカ 要望比：47.76%

《総計》 要望比：89.43%

## (4) 創造性

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

今回の申請事業は、劇場の社会的役割を果たすためのビジョン（(1) 妥当性：参照）に沿って、財団が培ってきた企画調整力、制作力、人的ネットワークを活かして製作してきた事業であり、幅広い年齢層を対象としています。なお、参加型の事業では、より多くの方が参加できる環境づくりに努め、各所と連携し創意工夫をして取り組んだ結果、地域の文化拠点としての機能・役割を果たすことができたものと考えます。

#### 【事業番号1】：横須賀芸術劇場少年少女合唱団

年2回の定期演奏会やプロとの共演ができる音楽性レベルを目指して活動するために、合唱界で活躍する指導者を招いて良質なレッスンを行う他、専門アドバイザーを招き、短期的な活動内容だけではなく合唱活動を通じた長期的な子どもたちの成長も考慮しながら活動内容を決定しています。令和5年度は、年2回の定期演奏会に加え、外部への訪問コンサートの実施など、団員の高いモチベーションをもち充実した活動ができました。

#### 【事業番号2】：劇場オープンデー/バックステージツアー/子どものための劇場裏側探検ツアー

施設の特性を活かしたバックステージツアーやオープンデーを制作しました。特にオープンデーでは、劇場施設の様々な場所で“出演”“鑑賞”“体験”が楽しめる内容や、公募で出演者を募集した他、劇場合唱団の指導者による声楽ワークショップや幅広い年代が参加できるワークショップや講演会など、多数のイベントを用意しました。また、小・中学生を対象とした「子どものための劇場裏側探検ツアー」では、参加者がオリジナル演出の朗読劇の制作体験（照明・舞台・音響）を行い、その劇を鑑賞できる体験型ツアーを制作しました。また、養護学校の生徒向けのツアーも実施。ステージ上での演奏体験も行うなど、普段劇場に足を運ぶ機会が少ない方にも気軽に劇場の施設やイベントに親しみ、舞台芸術への興味を喚起する機会を提供いたしました。

#### 【事業番号3】：アーティスト派遣事業

劇場主催公演等にゆかりのあるジャズ、クラシック（声楽）、能楽のジャンルでアーティストの学校派遣を行いました。単なる鑑賞事業ではなく、学校の要望を取り入れてプログラムを決定しています。特にジャズは横須賀の音楽文化でもあり、“横須賀とジャズの関わり”も紹介しました。特に中学校ではキャリア教育の観点から、アーティスト自身が音楽家を目指した経験談や学生からの質問を受け付け、音楽家という職業に対する認知・興味の向上を図りました。

#### 【事業番号4】：ことばと音楽で楽しむあべこべの世界

誰もが知っている童話をモチーフに、朗読とピアノの即興音楽によるユニークな“朗読劇コンサート”をチケット料金リーズナブルな設定とし、親子で演劇や音楽に親しむ機会を提供しました。作品への参加を実感できるよう公演前には、お面を製作する工作コーナーを設け、お面を公演中にかぶって参加するなどの工夫をしました。

#### 【事業番号5】：よこすか能 蠟燭能「住吉詣」

鑑賞しやすい環境作りへの配慮として、上演前の観世喜正氏の「見どころ解説」で、内容や見どころなども含め、鑑賞のハードルを下げるよう工夫しているほか、アーティスト派遣事業「能楽ワークショップ」とも連動し、次世代への伝統芸能の興味の裾野ひろげにもその役割を果たしていることが特徴といえます。

#### 【事業番号6】：フレッシュ・アーティスト from ヨコスカ

特徴は、若手演奏家支援のための「サポートメンバーズ」システム。メンバーズはフレッシュな演奏を聴く事ができるとともに支援を実感でき、若手演奏家はホールでの演奏機会を得ることで、成長へとつながります。聴衆と若手演奏会と相互により関係が構築されています。



## 自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

地域の人々が鑑賞や文化活動を継続的に享受できる機会の提供、環境整備に努め、地域の文化芸術振興に寄与できたと考えます。特筆すべき点は以下の通り。

### 【事業番号1】：横須賀芸術劇場少年少女合唱団

横須賀市および近隣市町村の小学2年生～高校3年生まで100名以上が参加する本事業では、年間を通して指導陣と綿密な連携体制で活動を展開しています。当合唱団の魅力や良いところについて団員の保護者および団員からの意見は、“学校とは異なる環境で異年齢の人たちと目標に向かって取り組めること”、“質の高い指導や練習環境・発表機会に恵まれていること”、“合唱団での活動のおかげで歌うことの楽しさや喜びを知ることができた”という点が多く挙げられており、一方で団員自身が生活の中で“積極的に考えて行動することができるようになった”等、子ども自身の成長に影響を与えた等の意見が寄せられています。次世代の文化の担い手の育成と合唱音楽の普及に貢献する事業と言えます。

### 【事業番号2】：劇場オープンデー/バックステージツアー/子どものための劇場裏側探検ツアー

財団職員と舞台委託業者の連携により、施設の特性を活かしたバックステージツアーやオープンデーの制作を行い、1,000名以上のお客様に来場いただきました。オープンデーでは、幅広い年代が参加できるワークショップや講演会などの多数のイベントのほか、大劇場でパフォーマンスする団体を公募し、発表機会を提供するなど、市民の文化活動の支援、文化芸術を日常的に楽しむ機会の提供、次世代の聴衆の育成などに貢献しました。

### 【事業番号3】：アーティスト派遣事業

訪問した学校の教職員からは本事業のメリットを①プロの良質なパフォーマンスを生で体験できる、②音楽または総合学習、キャリア教育の授業として役立つ、③アーティストとの交流ができる、④経費的負担が少なく良質な点を評価する。という声が多く聞かれました。また、子ども達からも口々に生演奏への驚きや感動、出演者や知識への興味、出演者との共演や交流への感謝、そこから自分が学んだこと等の声が多かったです。当事業が地域の中で子ども達の文化芸術への興味や関心を広げ、学校教育の一端を担い、次世代の文化の担い手の育成への寄与につながっています。

### 【事業番号5】よこすか能 蠟燭能「住吉詣」

特に若年層の鑑賞者数の拡大のため、能の演目には「住吉詣」を取り上げ、一般募集した子方（子役）に本公演への出演機会を設けました（小学4年1名、5年生1名、6年生4人／稽古5回）。参加した子どもたちからは、一様に「伝統芸能の世界の奥深さを知ることができた」「大勢の人前で演じられたことが、自分自身の自信になった」、保護者からも「伝統芸能の世界に触れる貴重な機会になった」「能楽への興味が湧いた」などの意見が寄せられ、本取り組みが若年層や親世代に伝統芸能への新たな興味を持つ機会となりました。

### 【事業番号6】：フレッシュ・アーティスト from ヨコスカ

現在までには、延べ64回の実施を数え、若手演奏家も初リサイタルとなることも多く「ステップアップのための貴重な経験となった」という声も多く聴かれることや、支援のための「サポートメンバーズ」のメンバーズとしても、新たな才能との出会いの機会を得る喜びのほか、音楽界を支えることを実感し、継続的にメンバーズに登録する方も多くいらっしゃるなど、双方にとってWIN-WINの事業となっています。

## (5) 持続性

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

当財団は、横須賀市からの指定管理料収入を財源としていますが、自主財源として利用料金収入（施設利用料、入場料）、助成金・企業等からの協賛金のほか、公的団体からの助成金等を獲得しながら、指定管理料のみに頼らない事業実施に努めています。事業実施の重点はおさえつつ、助成金を活用し、最大限の事業効果を狙い、自主財源を安定的に維持することが、組織活動の持続性へ繋がるものと捉えています。

今回の実施事業は、当劇場の下記ミッション、ビジョン（様式1-1に記載）を実現した事業となります。

助成の趣旨を踏まえ、充実した事業内容のもと実施できたことは、PDCAサイクルの要素（事業計画の再検討、顧客アンケートの活用、次回への改善点の検討など）を含め、組織力向上および組織活動の持続的な発展のための実績を積み重ねることができたものと考えます。

※【 】は、該当する事業番号

#### 《社会的役割（ミッション）》

① 地域文化の拠点としての役割

【事業：1・2・3・4・5・6】

② 潤いのある豊かな市民生活と地域社会を実現するための役割

【事業：1・2・3・4・5・6】

③ 横須賀市の豊かな未来を創るための役割

【事業：1・2・3・4・5・6】

#### 《ビジョン》財団が地域の芸術文化振興の拠点として役割を果たすための方針

① 創る・発信する

【事業：1・2・3・4・5・6】

② 集う・交わる

【事業：1・2・3・5・6】

③ 育む・支える

【事業：1・2・3・4・5・6】

④ つながる・応える

【事業：1・2・3】